



負け犬の舐める蜜

寝取られマゾヒスト

ユウスケはね。

お金を稼ぐだけの男なら、悪くない選択肢だと思うの。

なんと言っても、誠実だからね。

それだけは立派だと思うわ。

でも・・・それだけ。

貴方のプラスポイントは、その誠実さだけよ。

ユウスケのマイナスポイントはね？

貴方がマヅだったこと。

私も『M』なんだからさ。

それじゃあ、どうしようも無いじゃない。

『M』には『S』が必要な。

分かるわよね？

そ・れ・にっ！

自分が『M』だって告白するってことは、相手に『S』を求めてるってコトよね？

ある意味、脅迫に近いわ。

でも・・・その願望を叶えてあげるからさ。

私の欲望も叶えてよね。

それが夫婦ってものでしょ？

何でも言う事を聞くんでしょ？

マヅのユウスケ君 ♡

じゃあ、私がどこでどんな相手を探しても、OKよね？

大丈夫よ♪

貴方は私が調教してあげる。

ちゃんと『S』を演じてあげる。

それは約束するわ ♡

第壹章 妻が受けた調教を、妻から受ける夫。

たしか、1ヶ月前だったかな？

そんな話をユウスケにしたでしょ。

覚えてるわよね？

・・・忘れるわけ無いか。

貴方が私に告白した日のことだものね。

僕は、マズです。って。

でね？

見つけたの！

良い男っ！

誰だと思う？

ねえねえ♥

誰だと思う？

貴方も知ってる人よ。

えっとね。

名前は、トモ君。

うふふ。分かった？

そうだよ。

キミの部下の『楓 友樹』君。

彼ね。

S M バーで知り会ったんだ。

会ってすぐに、そのままトイレでやられちゃった♥

それも男子便所だよ。

私ね。

生まれて初めて、男の人に土下座しちゃったの♥

土下座って見た目より、ずっと苦しいんだよ。

知ってた？

三つ指って知ってる？

両手を綺麗にそろえて、長い順に指を三つそろえて、地べたにつけるんだよ。それにね。

奴隷は地べたに顔を、ぎゅぐゅって押し付けて、ご主人様の靴底より目線を低くしないとイケないんだ。

そうするとね？

オシッコの匂いなのかな。

業務用の洗剤の匂いなのかも。

臭ついアンモニア臭が鼻の中に、ものすごい量入ってくるんだよ。

一瞬、ぐらついちゃった。

でね？

土下座中にぐらついた罰として、その場でスパニングしてもらったの。

アレってすごいね。

まるで、子ども扱いされてるみたい。

それに男の人って、存外力が強いんだね。

身体を捻じって、悶えちゃったわ。

今までで、一番男の人を尊敬しちゃった♥

お尻の赤くなった痕、見る？

トモ君の手の平型に真っ赤になってるよ。

え？

見ないの？

・・・勿体ない。

でも、自分で選んだんだから、後悔は無いですね？

こーっら！

何のことだか分からないフリをしたでしょっ！

もう！

分かるんだからね。

本当は見たいくせに。

見なかった自分に後悔してるんでしょ？

でも、それが気持ち良いとか思ってるんでしょ？

それから・・・もう見せてもらえないことも期待してるんでしょ？

同じ『M』なんだから隠し事なんて出来ないよ？

でも・・・大正解。

トモ君の命令でね。

ユウスケに裸っていうか、下着姿を見せるのは、NGになったから。

パンチラも、ブラチラもNG。

見せていいのは・・・トモ君が許してくれた時だけ。

たとえば、今がそのチャンスだったんだよ？。

今、私に『見る？』って聞かれた時に、ちゃんと『お願いします』って言えたら、見れたのに。

お馬鹿さん♥

でも、ユウスケはチャンスを逃したから私の裸、もう当分見れないね。

一生かも♪

残念だね？

でも、しょうがないよね。

だって、ユウスケが自分で選んだんだから。

あ、それからトモ君の命令があるから。

読み上げるね？

☆夫婦間のキス、ハグ、SEXは禁止。

☆ユウスケは、オナニーも禁止。

☆ユウスケは可及的速やかに、お掃除クンニ、お掃除フェラを覚えること。

☆美穂がご主人様から受けた調教は、必ず美穂がユウスケに行くこと。

(但し、SEX調教と快樂調教は、NG)

☆美穂は女を磨き、ご主人様の所有物にふさわしい格好をすること。

また、その努力の結果や、ファッションなど女を連想させるものをユウスケに見せないこと。

☆お風呂は、美穂が先。寝室も分けること。

☆美穂がご主人様に調教を受けやすいように家事、そのほかの雑事はすべてユウスケの担当。

・・・だって。

トモ君の命令に納得できたら、ユウスケの部屋のドアと、ベッドに寝たときに見える天井に簡条書きにして貼って置いてね。

コピーは駄目よ。

ちゃんと、手で書くの。

出来たら、トモ君に写メするから。  
分かった？

あ・・・そっか。

さっきも言った通り、私が受けた調教をユウスケにしないといけないよね。  
元々、そういう約束だし。

いいよ♪

してあげる。

じゃ、公園のトイレ行こっか。

ウチのトイレ全然、臭くないし。

臭っさいトイレで土下座。

まずは其処から始めようね？

ダーリン♥

第貳章 土下座と身分の確認と。

うわぁ・・・。

やっぱり男子トイレは、臭いね。

さ、まずはご挨拶してご覧？

出来ないのは無しだよ？

だってそうでしょ？

私、本当は『M』なんだよ？

ユウスケが「どうーしてもっ！」って言うから仕方なく、『S』をしてあげてるんだからさ。分かるよね？

じゃあ、まずはその汚い床に正座しよっか。

それから、三つ指を突いて・・・。

そうだね。

上手だよ。

其処まで出来たら、後は簡単だよね。

私の靴底より目線を低くして♥

え？

出来ないなんて言わないよね？

だって、ユウスケが出来なかったら、私がトモ君に叱られちゃう。

それは絶対に嫌。

ほらっ！

ちゃんと床に顔をつけて。

ぎゅーって。

もっど！

もっどだよっ！

どう？

匂いがするでしょ？

臭い臭い匂いが。

私もね。トモ君に教わったんだけど。

その匂いが、奴隷の匂いなんだって。  
今ユウスケが嗅いでいる匂い。

臭いでしょ？

すっごく、臭いよね。

普段『S』の人は、奴隷を見るたびにそう思ってるんだよ。

「うわー。臭いなあ。この人。」  
って。

って言うか、『S』の人だけじゃなくて、普通の人も思ってるんだって。

言わないだけ。

傷つくだろうから。

でもね？

自分が撒き散らされたおしっここの匂いだって気が付かないのは『M』だけなんだって。

・・・そうかもね。

思い当たる節、あるでしょ？

ユウスケも。

私は、・・・あるよ。

オシッコ臭いって教えてもらって、ね？

すっごく納得できた。

私に似合うのは香水の香りでも、ユウスケが買ってくれた胡蝶蘭の香りでも無く、トイレの芳香剤みたいな、せめて周りを不快にさせないようなモノだったんだな。って。

そうだよ。

気が付いていないのは『M』だけ。

だ・か・ら・・・明日から、ユウスケはトイレの芳香剤の香りをつけて会社に行ってる？  
きつと女子社員の皆さんから、後ろ指刺されるけど。

「あの人、トイレの香りしてる（笑）」  
って。

でも、その方が良いでしょ？

こんな臭い匂いそのまま、周りの人に迷惑かけるより。

そのくらい臭いモンね？

ユウスケは。



じゃあ、次のステップね。

トモ君はね。

私に、そのままキスをさせたんだ。

もちろん、その匂い立つ床に。

ほらっ。

ユウスケもしてご覧？

大丈夫だよ。

私が見てあげるから。

むう・・・。

さつきもそうやって、なかなか命令どおりに実行出来なかったよね？

私の時は、すぐに出来たよ？

女の私が出来て、男のユウスケが出来ないはず無いよね？

出来るよね？

じゃ、唇を突き出しなさい。

唇出したら、そのまま置いてね？

頭からオシッコかけてあげるから。

ちゅっって吸うのよ。

私が撒き散らしたオシッコを。

妻のオシッコを公衆便所で吸わないといけない夫。

ユウスケはそういう存在なんだよ？

よく覚えておこうね♥

もちろん、私もしたよ。

トモ君がSMバーのトイレで、私の髪にオシッコをかけてくれたの。

ああ。

気持ち良かったなあ・・・。

うん？

唇、出した？

じゃ、逝くよっ！

プシヤア~~~~ッ

あはっ♥

ユウスケの黒髪。

黄色く光ってるね？

とっっても素敵だよ。

ブザマで……。

すごく似合ってる。

良かったね？

さ、可愛くなったところで、吸いなさい。

ちゅ~~~~って、吸うのよ。

……何？

なんでさっきから、必ず一度は躊躇するの？

もしかして誤解してるのかな？

『S』を希望したのはユウスケなんだからね？

今更、アレは嫌コレは嫌なんて、通用しないんだよ？

分かってるよね？

すべては、ご主人様である私が決めるの。

そして、私が決めたこと。

それは貴方の部下のトモ君を頂点とする奴隷制よ。

トモ君。

私。

貴方。

この順で、命令指揮系統が決まってるの。

トモ君は絶対君主。

私はトモ君のマゾ奴隷で、ユウスケのご主人様。

つまり、トモ君の命令にもユウスケは絶対服従。

当たり前でしょ？

もう一度だけ教えておくね？

トモ君が、私に命令したの。  
私が受けた調教をユウスケにもしろって。  
私にも、ユウスケにも拒否権は無いんだよ？  
分かった？

分かったら、吸いなさいっ！

うふふ。

吸い始めたね。

偉い偉い♥

葛藤してる？

なお、良いね。

じゃ、一枚撮るから、そのまま動かないでね。

えいっ！

「ふぎっっ！」

もうっ！

頭を踏まれたぐらいで、声をあげないのっ！

うん。

グリグリされるのも、もちろん私もしてもらったよ。

ほらほらっ！

靴底のゴミをユウスケの頭にこすり付けてあげる♥

幸せでしょ？

私の靴底に付いたゴミを頭にこびりつけてもらえるなんて。

パシヤツ！

うん。撮れた。

でもトモ君、これで満足してくれるかな？

いいや。

たくさん撮って、一番良いやつを送ろっつと。

パシヤツ。

パシヤツパシヤツ。

パシヤツパシヤツパシヤツ！

あははは（笑）

こんなになくさん撮らなくても良かったかな？

じゃ、次の調教だね。

ユウスケ。

散々ゴネた罰だよ？

ズボンと、ズボンの中の汚い白ブリーフを脱ぎなさい。

脱いだら、四つんばい。

お尻はこっちに向けてね。

うん。

これは、すんなり言うとおりに出来るんだね♥

もしかして、スパンキング願望でもあった？

あー。

別に良いよ？

答えなくて。

だって、そうでしょ？

私が興味があるのは、トモ君の喜ばせ方であって。

ユウスケの好みなんか、どーでも良いし。

今日だって、トモ君の命令だからしてあげてるだけ。

ユウスケとの約束なんか、守る必要ないと思うんだ。

ユウスケもそう思うよね？

だって、ユウスケは奴隷だもの。

そんな男との約束なんか無効だよね？

異論、ある？

あはっ♥

そうだよ。

そうやって、お尻を出していい子になさい。

黙って、屈辱に耐えるの。  
それってユウスケに、とっても似合うと思う。  
じゃ、逝くわよ。

パーーーーッン!!!!!!

「いぎいいいいいい!!!!!!」

あははっ♥

ユウスケのお尻に手の平型の痣が出来てた(笑)

痛いでしょ?

すっごい痛いでしょ?

私が男だったらなあ。

もっと強く叩けるのに。

もっと、真っ赤になるのに。

そうだっ!

今度、トモ君にオネダリしたら?

お尻叩いてもらいなよ。

私と同じ調教をしないとイケないし。

部下で、後輩で。

妻のご主人様にお尻叩いてもらいなさい。

それも手の平で、ペンペンって。

コレは命令ね。

最低でも、オネダリはすること。

もちろんトモ君の意志が最優先。

オネダリして断られたら、それはユウスケが悪いんだからね?  
分かった?

じゃ、もっと叩くよ?

せゝのっ!

パーーーーッン!!!!!!

「ひいひいひいひい!!!」

あはははっ!

右のお尻にも左のお尻にも赤い痕が付いたね。

左右対称になっていないところが、素敵だよ♥

左右対称のシンメトリーなんて、ユースケには格好良すぎてもったいないよ。

このくらい乱暴に痕が付いていた方が、ユースケは可愛いと思うな。

「あ、乱暴されたんだな」 ってすぐに分かるし。

じゃ、次・・・逝こっか。

パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!  
パーーーーッン!!!!!!

ふう。

もう何回叩いたのかな。

お尻の赤くないところ・・・もう無いね。

お猿さんのお尻みたい。

私と一緒にだね?

ま、私のお尻はトモ君が叩いてくれたんだけど。

もう少し、お尻を高く上げてくれる?

写メ、撮るから。

パシヤっ!

あ、ヤバイっ!

もうすぐ朝になっちゃう。

私、帰るね。

少しは寝なくちや。

ユウスケは、ここでさっき言ったトモ君からの命令を手書きしてて。

出来たら、戻ってきて良いから。

戻ったら、朝御飯作っておいてね。

え？

何を命令されたか、忘れちゃった？

細かいところが分からない？

ダメっ！

そんな言い訳、通じるわけ無いでしょ？

罰として、この白ブリーフとズボンは没収っ！

おうちに帰るまで、下半身裸でいなさいっ！

あ、紙とペンはコンビニで買ってね。

200円、あげるから。

下半身裸のお尻真っ赤な男の人が来たら・・・コンビニの人も笑ってくれると思うよ？

体験版はここまで。

ラストは、寝取られマゾにふさわしい無様なラストよ。

よろしくね♥